

平成 27 年度 湖南市立図書館第 3 回図書館協議会 会議記録

- 開催日時 平成 27 年 12 月 20 日(日)午後 13 時 30 分~15 時 40 分
- 開催場所 湖南市立甲西図書館 2 階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員 10 人 欠席者 なし
教育部長、事務局図書館長他 2 人
- 傍聴人 4 人
- 議事 1.図書館協議会交流会報告について
2.図書館評価について
3.意見交換、協議、その他

[開会]

館長	<p>【事務局による資料確認】</p> <p>皆さんがお揃いになりましたので、第 3 回の湖南市立図書館協議会を開催させていただきます。まず、部長があいさつを述べます。</p>
部長	<p>本日はお忙しいところ、もう少しで新しい年を迎えるという時期に協議会にお集まりいただきありがとうございます。また、傍聴の皆さんありがとうございます。</p> <p>予てから図書館の移転に関しては、議会等でご議論をいただいたところですが、今回の検討案については、一定の方向性が出ましたので後程詳しく報告させていただきます。いずれにしても図書館もあと 2 年で築 30 年となります。これまでは大きな修繕もなく来ましたが、今後はおそらくどこかで休館を伴う大きな修繕が出てくると思われれます。また、もう 10 年すれば築 40 年となり、通常 3~5 年を要する新たな計画を議論する時期となります。図書館だけでなくいろんな公共施設の課題が出てくると思われれますが、皆さんのそれぞれの立場で、ご意見をいただくことになると思いますので、よろしくお願いします。</p>
館長	<p>では、これから先は規則により会長が議長となり、議事進行することと定めていますので、吉村会長、よろしくお願いします。</p>

■議事

会長	<p>皆様、12 月のお忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>前回の議論に続き、その間も県の交流会に参加いただいた方もあり、盛り上がっている状態です。本日もご遠慮なくご発言いただけることを期待しておりますので、どんな些細なことでも感想を述べていただければ、図書館にとって良いことなのでよろしくお願いします。本日の議題 1 番目は県の図書館協議会交流会の報告および意見、2 番目は、持ち越していた平成 26 年度の内部評価に対する外部評価、3 番目としてその他意見交換、事務局からもいくつかを用意してもらっていますし、皆様からのご意見もご発言いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>では、1 番目の議事「県の図書館協議会交流会の報告について」の説明をお願いします。 資料No.⑦参照</p>
----	--

事務局	<p>[議事1 図書館協議会交流会報告について説明する。] 資料No.⑦参照 「図書館協議会交流会」開催要項、他</p>
会長	<p>今回の滋賀県の交流会は、湖南市の図書館協議会から4名、図書館から館長と副館長に参加いただきました。</p> <p>では、順に報告をお願いします。</p>
委員	<p>詳細まではお話しする時間がないと思いますが、館長ほか委員の参加報告をいただきましたが、その他に市議会議員の二人が参加いただきました。過去、草津市の議員の出席は一度ありましたが、湖南市からの議員の出席は初めてで大変意義のある交流会だったと思います。第1部と第2部に分かれていまして、第1部では図書館協議会の活動報告で、彦根市立図書館協議会と守山市立図書館協議会から代表者による報告がありました。彦根市図書館は来年100周年という歴史のある図書館ですけれども図書館協議会が設置されておりませんでした。そんな中で1999年以来図書館を考える会という名前で図書館について図書館を愛する方々が集まっていろいろ活動をなさっていて、県の図書館協議会に出席されていて、その論議の中でやはり彦根市にも図書館協議会を設置しなくてはと市と協議をされ、今年図書館協議会が発足をされました。第1回目が7月27日に行われました。</p> <p>それから、守山市立図書館協議会ですが、資料にありますように守山市立図書館は改築をされます。そういう中で今まで計画書とおりの内容の報告がありました。最近具体的にどうなったかは特にありませんでした。それと、滋賀県公共図書館協議会から図書館職員を中心としたメンバーで、がん情報提供委員会を立ち上げられまして、各図書館の職員さんが加わり、その活動報告がありました。平たくいうと、3人に1人や2人に1人など癌にかかる時代で、癌の情報が錯綜していますし、実際にがんになった場合どうしていいのか、医療機関だけでは対応できないことや病状など正確な情報が伝わらなかつたり、病院に差があつたりの中で、新聞でも毎日のように載っています。もしも自分や家族に癌宣告されたらどうしたらいいか、図書館で情報を得られれば、病気のこととかケアまでの広い範囲を図書館でどのような情報を集めて自分が医療機関にどう接するのか、家族とどう接したらいいのか、家族とどう社会を生きればいいのかについて、図書館がどのように取り組み提供すればいいのかの研究チームで、そのモデルケースとなるのが静岡市の県立図書館で、その報告がありました。書籍だけを並べるだけでなく、新聞の切り抜きも情報提供している。図書館のそのような情報にせよ、治った後のフォローなど病院より図書館の方が行きやすいのではないかと、図書館の果たす役割はそういうところにもあるのかとの学習をしました。まだ、具体的にどこでどうするまでに至っていないが、例えば守山であれば県立成人病センターと守山市図書館が近いことから、成人病センターに通院や入院している患者が癌の治療法の情報を取りに来られる実例があるようで、今後どのようになるかは決まっていますがそうした報告がありました。その後は、毎年ですが地域が片寄らないグループ分けによるフリートーキングがあり、グループごとの報告がありました。</p>
会長	<p>では次の委員の報告をお願いします。</p>
委員	<p>私は、館長が初めて参加してくれて、前向きに取り組んでいただいていることが伝わってくるので嬉しかったです。それから全体会ですが、私のグループに彦根の方がおられて、やっと協議会が出来たとのこと、このような場に参加させてもらおうと湖南市がどのような位置にある</p>

	<p>かがよく分かるし、十数年前からあって当たり前のように関わってきたが、当たり前でないところがある事を知り、協議会の果たすべき役割が少し分かってきました。それから、守山市の建て替え検討の委員に協議会委員の中から何人かが入られるそうで、先ほど部長が建て替えの話がされたので、その際にはこの協議会から委員を選出してもらうのもひとつの案かなと思いました。そして、私のグループ内では、次の3点を発言をしました。一つは、図書館協議会での評価項目について、昨年度からの継続審議のなかで、小委員会を2回して第3回目の協議会で提案していくこと、二つ目はビブリオバトルを実施していること、3つ目は図書館協議会終了後に、傍聴者を含めた希望者で昼食会を催したところ、非常に良い意見が出たことについての報告をしました。特に、ビブリオバトルについては、チラシを全員に配ったところ、自分のところでもやりたいのでは是非見に行きたいと、その場で3人の申込者がありました。評価項目の検討については、当たり前前に思っていました但他では何処もしておらず、県内で先進的な取り組みをしていること、そして全体の中での湖南市の位置が判りました。それから彦根の方がこれからの取り組み方を尋ねられていましたので、まずは他の委員さんに、県の交流会で話されていた内容などを報告されたらどうかとアドバイスしておきましたが、本日の議事に挙げていただいているので湖南市は筋が通っているなと思いました。</p>
会長	<p>次の方、2回目の参加だと思いますが、ご感想をお願いします。</p>
委員	<p>私は、今年で3回目の参加となりますが、当時は図書館協議会がどういう仕事をするかが分からないまま委員となりましたが、直ぐに県の協議会に参加した時のことで、確か彦根の方の小さな町五つほどが集まって市の図書館協議会が出来たところの話で、図書館といっても名前だけで本自体みすばらしいもので、図書館の活動というか図書館自体のカタチを成してないものが集まったとの話を聞いて驚きましたが、私は守山・野洲や湖南市のように既に協議会があり先輩諸氏が勉強して指導いただき、順に新しい委員が入ってくるものだという感覚でいましたが、図書館協議会自体何をしたら良いのかと言われていたのが当時の会合印象でした。その3年前の記憶では第1部で費用対効果が議題に出ていた記憶があり、図書館は文化に関わる話や文化の基本になる書物の管理、あるいは地方の土地の特色がある大事なものを守り育てて行きましょうという会議であるはずなのに、費用対効果といわれて驚いたのが1回目の参加でした。今年第1部の発表に続き、第2部では八つほどのグループに分かれ交流会を、湖南市からの参加者も一人ずつ入り、話をしました。今年においても、滋賀県内でも市町によって協議会の任期が一年であることや、交流会には毎年交代での参加など継続性が全くなく勉強しかけて終わりではとの話があり、湖南市のように図書館活動を評価するなどの余裕は到底ないことなど、大きさの差や活動歴の違いに驚いたという、そうした一面がありました。また、図書館司書の問題も出ていて、司書は建築や土木と同じように業者と癒着がないように一・二年で一定数を換えていくのが役所のやり方ようですが、そもそも司書は先輩が後輩を育てていくという職業であり、何年か毎に順に交代していくようなものではなく、そのような部分も協議会としてみていく必要があると感じました。</p>
会長	<p>次の方の感想もお願いします。</p>

委員	<p>今回、初めてこちらの協議会も今回で3回目ですし、県の交流会も初めてで、一番に感じたのは、理事会、委員会、会とつくものは湖南省にも沢山あると思いますし、県にも同様に委員会がありますが、それぞれのカタチがあってその在り方の良い悪いというのは、湖南省であり、守山であり、野洲で市独特の委員会を作って、いろいろな立場でカタチを作っていけばいいのかと感じました。二つ目に感じたことは、私のグループでは守山の会長と同じでして、先ほどの教育部長の建て替えの話と併せまして、守山図書館の建て替えに関してですが、この案は誰がたてたのかと尋ねたら図書館委員会ではなく、企画実行委員会を立ち上げられて、そこがひな型を作られたもので、その後図書館協議会にその案をおろしてもらって、協議会として協議し、意見を付けさせてもらったとのことでした。そして、この図書館の案を作るにあたっては、守山市の地域計画で守山駅からホテル川という綺麗な川があり、まちづくりの一端のとして図書館を配置し、いろいろなゾーンを備えたカタチとなったものだそうで、そういう図書館のあり方もあるのかと思って話を聞きました。</p>
委員	<p>守山市の図書館建て替えについて明確に補足をさせていただきありがとうございました。</p>
委員	<p>市と調整しながら委員として意見を出されており、良いものができればと言われていました。</p>
会長	<p>では館長の参加は今回初めてですが、感想はいかがですか。</p>
館長	<p>湖南省の協議会のように歴史があり中身もしっかり整った組織、またこのほどようやく設置されたような彦根市もありましたが、先ほどの委員も言われていましたが、市町や地域によっていろんな図書館のあり方があっても良いと思います。ただし、そんな中でも大事にしていかなければならないことは県立図書館を中心に各市町の図書館間とが連携を図ることであり、特に協議会の学識者や市民、そして利用者それぞれの意見を聴いたうえでの連携が大事であると感じました。また、図書館間の結びつきを深め、図書館を間違いのない正しい方向に運営していくには、こうした県の交流会の回数を重ねていくことの必要性も感じたところです。それぞれの図書館ではご苦労されていると思いますが、特に湖南省の協議会にあつては他市の先導役としてご活躍いただいております、組織が本来果たす役割が機能していることを実感しましたし、日ごろ皆様にご尽力いただいていることに改めて感謝申し上げます。</p>
会長	<p>皆さん任期2年ですが、県の交流会は来年も毎年11月の終わりか12月に行われますので、次回都合がございましたらご参加ください。</p>
委員	<p>ビブリオバトルについてですが、この委員の皆様にも参加いただきたいのですが、興味がありそうな方へ情報を渡していただけるとありがたいなど、前は二人しか発表者がなく、当日市長が来られていたのでその場で発表を依頼したようなことでした。今度は余所からも来ていただけますので、宣伝をよろしくお願いします。</p>
会長	<p>では2番目の議題図書館評価について、ワーキンググループからの経緯についてもお願いします。</p>
事務局	<p>【議事2 「図書館評価について」説明する。】 資料No.①参照 平成26年度湖南省図書館サービス状況点検・評価 評価指標および実績推移報告</p>

	資料No.②参照 平成27年度湖南市立図書館サービス状況点検・評価 評価指標および取り組み状況と目標 実績推移
会長	<p>ワーキンググループは、私を入れて委員4名と図書館から副館長と石部から一人加わってもらい合計2回行いました。委員から意見を出し、職員が図書館へ持ち帰り、職員全員が検討を行い、それを確認するやり取りをした結果が資料中の赤字で示している部分です。特に今回は、まず話のレビューとして文部科学省から地域に、また利用者に即したものの図書館法および文科省からの通達が出ており、図書館をしっかりと評価しなさい、或いは外部も採り入れてというものに対して、うちの図書館は比較的早く取り入れて他館より早く着手して平成27年度からの結果を28年度に一般に公開しようというのがあります。その前に平成26年度で試してみましたが、他府県で実施しているのは非常に少ない中で神奈川県<small>の</small>町田市ではかなり以前から取り組んでおり、一般公開している冊子を手し、参考にしながら作成しました。</p> <p>まず、平成26年度の取り組みを内部評価したものを外部が28年3月までに評価をするが一般公開はせず、そして平成27年度の取り組みは、その結果をできれば我々の任期中で再来年の3月まで外部評価をしたく、そのために結果を急いでもらうことになります。ワーキンググループ1回目では平成26年度の外部評価としてコメントをつけ、いろいろな意見を反映したものがまだまとめきれておらず3回目の今日の日までに開くことが厳しかったものです。それで第3回目のワーキンググループを開き、改訂版が出たので、(1)、(2)の全体・個別の評価判定を行ったものを次回4回目までに作り事前に郵送させていただきます。第4回目当日それに対してご意見をいただき、追記があればその場で取り込んだものを最終案と考えていますが、このスケジュールで進めてよろしいでしょうか。</p>
委員	凄く単純な質問ですが、平成26年度の内部評価の5頁の④は何故抜けているのか。
会長	事務的なミスです。
委員	ちなみに評価は何でしたか。
事務局	Aだったと思います。
委員	もう1点聞いて良いですか。6頁の⑥は何故評価がBなのか。
	職員で協議した結果で、確かに連携事業はしましたが、連携の度合いが事業によって違いがあり、中には貸会場的で職員が前向き主体的に関わっていなかったものがあり、来年度は再検の余地があるとBに評価したものです。
委員	もう一点、4頁の②の平成26年度目標値が前回の資料では1,130であったが、1,100になっている。次に7頁の⑦の目標値が128から130になっているが。
事務局	前回は打ち間違いであり、訂正箇所となります。
会長	では、先ほど委員の意見があった6頁⑥のB判定についての説明がありましたが、この際に成果の欄へ評価の根拠となる事業毎に評価した文章化をお願いします。
委員	2頁目の内部評価がローマ数字になっていますが、その後はアルファベットABCになっていますが、その変えた意図は何ですか。
事務局	評価の仕方・基準が違うので、紛らわしくないようにわざと分けました。

会長	8頁と3頁の判定基準が違うのに同じ記号にすると紛らわしいとのことから、表現を変えたのは、ワーキンググループからの提案で、片方は3段階で、もう一方は4段階でしたので変えたものです。
委員	数字だけを見れば同じような内容だったので、返って紛らわしいと思ったもので。判定者が違うということか。
会長	判定基準が違うことです。特にワーキンググループが指摘したのは、3段階と4段階で一番ダメな数値に違いがあるのは紛らわしいとのことから考慮したものです。
委員	ワーキンググループの手順について、それでいいと思いますが、この問題は皆さんとあえて共有したいと思ってですが、2頁の平成26年度取り組み内容とその成果の3行目の「除籍は追いつかなかった」とありますが、除籍は配架と一緒にそれぞれがうまくいくことによって図書館が機能しています。除籍は一般の者には見えないものでそれだけに重要だと思います。これは古いものから順に捨てて行ったらいいというものではなくて、かなり専門的な知見を持ち経験を積んだ司書でないと手を入れられないものです。図書館が正しく機能しているかを見るうえで非常に重要な部分です。それが追いつかなかったことから、見直して平成27年度は計画的に進めると書いておりますが、計画的な除籍を進めるために司書として何が不十分なのか、何が滞っているのかを特に分析されることが必要であり、具体的なお話をさせていただくことによって共有化が必要であると思います。如何ですか。
事務局	先ほど言われたように除籍は見えないもので、見える部分が優先となり、つまりカウンター優先となり、次に新刊の選書が優先となり、除籍の順となります。それを開館時間中に同時にするとともにカウンターにも選書にも慣れた職員の配置が必要となります。職員数は変わっていませんが、若い職員の配置でカウンター業務を教える必要性もありますし、また除籍は新しい職員にはできませんので、どうしても古い職員が中心となってきます。若い職員が何年かして育ててくれればカウンターを任せることができますが、今はその段階ではありません。 平成27年度は計画的に除籍を進めると書いていますが、現在平成26年度より進行が遅れている状態です。申し訳ないですが、平成27年度の評価も同じ表現になるかと思います。
委員	ですから、少なくとも司書を育てていくことの大切さが顕著に表れているということですね。そのようなことを皆さんと共有する必要がある事が言いたく発言させていただきました。
会長	単に捨てるというのではなく、どれが除籍して良い本かを選書するのが単に司書の資格を持っているだけではなく、うちの図書館にとってもう少し残す必要があるなどの見極めは経験がものを言うということですね。
事務局	人数が減りますと、除籍するときは全員で目を通すことにして、一人でもダメという者がいれば残すようにしていますので、全員の合意で除籍をします。その人数が減りますとその合意の意味が、やはり意図的でなくても複数の目で見ないと得手不得手がある事や偏りが生じてしまうことになりかねませんので判断ができる一定人数が必要となります。
委員	希少本や県立図書館との連携などはどうですか。
事務局	例えば除籍する際にどうしても当館に置いておきたい本と、県立図書館に所蔵されていれば、必要な時に借りれば良いという本とに分けて判断をしています。実用書以外の本は、県立図書館にある本かどうか調べて除籍しています。

委員	<p>ここで確認をしたいのですが、人事配置で司書が他部署へ出て行っておられますが、その代わりに入って来ているが司書でない人が多いです。私が外から見ているとレファレンスや廃棄能力が落ちています。ということは、司書の配置をしっかりと考えていただかないと業務が滞っているよう受けとめたのですがそれでいいですか。言いにくいでしょうが、司書の能力ある職員が出て行っているし、去年はヘッドハンティングで他市へ行ってしまったこともありました。</p> <p>他の委員は如何でしょうか。</p>
部長	<p>このことは12月議会の議員からの一般質問でも出ましたし、議員以外からもいろいろな場でお聞きしており、十分承知しているところです。</p>
館長	<p>やはり新しい本を入れようとすると場所があるわけで、それが滞っているということは、通路に本が積まれている状態になっています。これは職場としても安全衛生上災害防止と快適な職場環境の実現に改善し、職場に安全と健康を確保しなければならないことは所属長として責任を感じておりますので改善できるよう人事にも伝えていく検討していきたいと考えております。</p>
委員	<p>安全衛生上の問題もそうですが、本というのは目に見えないところの知的財産ですから、除籍作業は経験や専門性が高く、大事で取り返しのつかないことにならないようよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>次の4月には期待できるのでしょうか。</p>
部長	<p>現実には司書の採用が十数年有りませんし、司書の後継者を育てていくためにも、採用について人事担当に要望は続けています。司書を一般行政職に配置しているのは、他でもそうだと思いますが、図書館が開館した時期に職員が必要だと数年間に多くを採用し、同じ年代が多数いる状態で、それが同じ職場にいるというのは如何なものか、また他の部所へ行って勉強してほしいということもありますが、いずれ図書館へ戻ってもらえることを要望していきます。それと併せて、次世代を担う司書の採用も要望していきます。</p>
会長	<p>では話を戻しまして、評価に関しては、一応答申案ができたので早急に前のメンバーで第3回のワーキンググループで最終案を作り、第4回の協議会で皆さんからの意見を確認したうえで、それを答申とするためにはできる限り早く皆さんに郵送したいと思っておりますのでその際にはよろしくお願ひします。平成27年度は詳しく説明していませんがそれでよろしいですか。平成27年度は、これに沿って取り組み・目標に判定欄、成果として書き加えられて平成27年度の報告となります。</p> <p>では3番目の議事に入りたいと思ひます。事務局から準備いただいている資料からお願ひします。</p> <p>【議事3 「意見交換、協議、その他」】</p>
部長	<p>まずは、私から第2回図書館協議会以降の図書館移転のその後の経過を説明いたします。</p> <p>皆さんご存知のように商業施設への移転の可能性を探ってきたものですが、10月下旬に相手方の法人から移転による協議は整わなかったとの返事がありました。</p> <p>教育委員会事務局としては、11月4日に臨時の市議会があり、議会全員協議会でこの経過</p>

	<p>を説明させていただきました。その内容は、当面は現在の場所でサービスの向上に努めるというものです。それと12月市議会の一般質問ですが、図書館のあり方の基本的な考えは、現在の場所でのサービスの具体策は、司書資格を持った職員を有効に活用しているか、市民の声を具体化するにはどうするのかなどについての質問が3名の議員からありました。教育委員会事務局としても、サービス向上をしようとする一定の財源も必要となりますので、来年度一度にというわけにはいきませんが、今平成28年度予算の積算時期でもあり、財政当局と折衝しながら、できるものから進めていきたいと考えています。</p>
会長	<p>館長から補足してもらえることや、例えばこういうものを織り込みたいことなどはありますか。</p>
館長	<p>以前から要望をいただいている一つであるまちづくりセンターへの本の返却の可能性について、必要な経費が伴う場合もありますので、現在あくまで下協議としての話をしているものですが、現在まちづくりセンターは、各地域まちづくり協議会によって指定管理していただいております。</p>
会長	<p>場所によって申し入れないところや、それぞれのまちづくり協議会によっては受けてもらえない可能性もありますか。</p>
館長	<p>予算を伴う場合もあるので詳しくは言えませんが、中央と石部まちづくりセンター以外はすべてお声掛けをしている状況です。</p>
会長	<p>今の時点で言えるのはそれぐらいですね、次回第4回の3月には説明をお願いします。</p>
委員	<p>今の教育部長の話で気になった点があり、最初にどういう経緯で民間計画が出てきたのかわからないですが、相手は営業ベースでしょうし、図書館とはなじまないことは最初から分かっていることで、どうしてそういう接点ができてしまったのですか。</p>
部長	<p>営業という意味ではなくて、今の図書館の規模を移転先で実現しようとするのと、一つのフロア全部を借りないと現状の規模を維持できません。というのは床の荷重制限から今の図書館のように本を高く積むことができないことから、現在の規模より多くの面積が必要となります。当然相手方が検討された中で経費面など、内容は多岐にわたるものと思われ、市の条件に合わなかったということですが、交渉事なので内容についてはこれ以上のことは控えさせていただきます。ご理解をお願いします。</p>
委員	<p>現状でということであれば、来年もおそらく再来年も甲西図書館については借地料を払い続けるということですね。</p>
部長	<p>現時点での当面ですので、それが何年になるかはわかりません。</p>
委員	<p>冒頭の挨拶で30年経って、40年、50年は持つとして、後10年20年のうちにどうするか、人口も減ってくるし石部と甲西を併せて計画するのか、現状を使っていくのかそれらを含めて長期的な計画を進めるということですね。</p>
部長	<p>先ほど、県の図書館協議会交流会の資料で守山市の計画をみていますと、平成21年から検討を始められているので8年、9年かけておられ、やはりそれぐらいかかっているなど拝見していました。</p>
会長	<p>守山市の移転で国の補助金交付の適応条件を満たしたとあるが、うちは適応されますが。</p>

部長	守山市の国庫補助制度は何を採用しているのか承知しておりません。同じ場所で建てるのが必須であるとのことで、他に移転する場合の補助制度があるかについては文部科学省に限らず広く調べていきたいと考えています。
委員	今後10年近くかけて新しい図書館のことを考えていくのであれば、情報公開等に基づき図書館協議会が機能することが大切であるように、新しい図書館の計画についても同様の姿勢で進めていただくことを希望します。特に、今回の議会での質疑を聴いていますとかなり不透明なところがあり、交渉事だからでは議員も相当疑念を持っておられた感であり、勿論私も聞いておらず、図書館協議会に先に諮る必要はないという答弁もあったようですが、決してそうではなく、情報公開と民意に基づく図書館協議会について考え直していただきたいと思ひますし、私たちも勉強しなくてはいけないと思ひますが、その点について提案したいと思ひます。
部長	市の公共施設の50%が築30年を経過します。ここ10年程で考えていかなければいけない時期が来ますが、これは市の独断でやるのではなく、当然図書館だけでなく広く皆さんから意見を求めながらやらなければなりませんし、人口規模とか財政のことも考えると、今の施設をそのまま同じものを維持していくことは絶対不可能ですから、皆さんの知恵をお聞きしながら進めなければと思ひていますのでよろしくお願ひします。それから交渉事ですが、相手の立場を尊重しながら進めることが必要であり、説明しきれてない部分については一定ご理解いただきたいと思ひます。
会長	では、事務局から予定していただいている件についてお願ひします。
事務局	説明する。 資料No.③参照 「世界 12月号」 虚像の民営化「ツタヤ図書館」 資料No.⑧参照 図書館関連新聞記事
会長	委員からの意見があればどうぞ。
委員	インターネットで議会の様子が出ていたので、引っかけたところがありました。議員からの一般質問のなかで、アンケートを執るなら、あなたは午後6時までなら図書館に来られますかと聞くべきではなかったかなど上手に具体例を言っていたいただきましたが、その答弁で、レファレンスサービスを必要としている人は少ないので、カウンターに司書が常時いる必要がないとの答弁がありました。そこで皆さんに確認したいのですが、前回第2回に説明があったアンケート集計結果の中でレファレンスは少ないと書いてありますが、本日の資料平成26年度の実績報告の2頁には、レファレンス件数が達成率118.7となっていて、この中で一番高い達成率であり、また平成22年度と比べても2.4%が今回のアンケートでは5%と増えている分析をしていただきましたが、アンケートが独り歩きして、勝手な誘導アンケートではないかと発言していたと思ひますが、行政改革が実施されたアンケートについて、図書館協議会としても認めてない中で、アンケートではレファレンスサービスを利用する人は少なく、カウンターでは司書が常時必要がないという極論になっていましたが、副市長に対して認識が違っているとの指摘をする機会はないのでしょうか。

部長	副市長の答弁は、常時カウンターに居なくても、事務所に居ればすぐに対応することができるのではとの思いから来ています。居なくても良いということではなくて事務所に専門職がいれば対応ができるという考えです。
委員	でも、必要とされる数は少ないのでとも言われているが、レファレンスの利用が毎年増えて行っていることを知らずに発言をしているのか。知りながら飛ばしての発言なのか。副市長という立場で、カウンターには本の貸し借り時のバーコード読み込みだけの専用職員を置いておけば良いと言われているのか。
部長	今回の図書館移転の話の中で、図書館の現状については、説明をしていますが、おそらく、その時は図書館の詳しい資料を持っておられなかったと思いますので、そのような発言になってしまったものかと思われます。
委員	これは、中村部長に説明をしてもらおうつもりはなくて、何を言いたいかという、私たちはこのアンケートに対しては、納得をしてないということについて、この場で改めて発言させていただきます。なぜかという近江八幡市に事業仕分けを見に行ったときに委員が職員に対して図書館協議会はどう言っているのかを何度も聞かれていたから、湖南省でもこうした資料を良しとしていないのにこの資料から今回のような答弁をしているので怪しからんと思っています。
部長	そうした意見があったことは報告しておきます。
委員	数字の説明報告ぐらいは館長か、部長からでも副市長に説明していただき、現状を認識してもらったうえで物事を決めていただきたいと思いますと思うからです。
部長	正確な数値は伝えさせていただきます。
会長	私からも、委員として議会のインターネットを見て気になったのは、ガラパゴス化の答弁です。おそらくあれは、あるサイトネイバーを見てそのまま発言されたと思うのですが、書いてある内容をものすごく曲解しているということです。ネイバーがまとめているのは、世界はこうであると、しかし日本ではそこまで行っていないというもので、世界がガラパゴス化であって滋賀県がガラパゴスではない、滋賀県と甲西図書館が日本の図書館から外れていると主張するが、そうではなく日本が遅れている中で滋賀県が頑張っていることが事実なのに、滋賀県だけが日本で違うことをしているとなればガラパゴスとなります。確かに海外では 24 時間開館しています。それも正しくなく、大学図書館で 24 時間していて、それも医学系だけです。国内の公共図書館で 24 時間しているのは二つだけで、長野県のある村とネットで見つけましたがもう止めていました。日本の中でやっているから甲西もやりなさいというのは極論です。だから情報の一人歩きは怖いということと、昔の人は本を調べ物にいろんな所へ調べに行きました。なかなか情報にたどり着かないけれど訓練をして、いろんな方法で正しい情報にたどり着く努力をしたのがインターネットのない時代でした。しかし、今ウィキペディアはまだある程度正確ですが、間違った情報が沢山あった時に、たまたまクリックした一つめのこれが正しいというのは、それは本を読みこむ習慣がついてないからです。本を小さい時から読んでいた人は、まず疑問を持つ、そしてどのルートをとれば正しいことができるか、そしてわからなければ図書館へ行き尋ねる。とにかくいい加減であり、自分が考えていたものと同じなのでこれで良いと、自分が正しいというのが図書館へ行かない最大の間違っただ理由です。だからこそ図

	<p>書館へ行って本を確り読む、わからなければレファレンスすればよいと思う。そのために図書館があります。ネット検索は非常に怖いものです。個人的な意見ですが、滋賀県は決してガラパゴスではございません。</p> <p>他にありませんか。</p>
委員	<p>テレビ・新聞記事に書かれていることで、図書館が新刊本を出版社とどう共栄していくかがあるが、湖南市図書館は新刊をどれくらいの期間で購入して出しているのか。</p>
事務局	<p>それは出版社側の言い分で、そういった特別な期間は設けて無く、出版されればできる限り早く提供するようにしています。出版社側が言っている因果関係が実証されていない状況です。</p>
委員	<p>では、新刊が出たら何冊購入されますか。</p>
事務局	<p>1冊です。ただし、人気のある本は複数になりますが、その基準は予約を何人、何十人がされるかによって待たれる期間を考慮して、その都度必要とされる数を購入しています。</p>
委員	<p>図書館が毎月発行されている図書館だよりの新刊案内ですが、これだけでしか知る事はできないのですか。</p>
事務局	<p>新刊案内は、他にはインターネットで図書館のホームページで、検索画面から新しく入った本を見ていただくことができます。</p>
委員	<p>インターネットを使えない人は電話で尋ねるとかですね。</p> <p>次に、古くなった本の除籍対象の本を保育園や小学校へ配布されていますが、市立だけか、私立へも配布されていますか。</p>
事務局	<p>今のところは市立の保育園、幼稚園、小学校だけです。</p>
委員	<p>非常に言いにくいですが、年末年始が9連休になっていますが、ここへ入らせてもらって納得していますが、一般市民の感覚では長いのではないかと、苦情が来ているかわかりませんが。</p> <p>休館日も石部と違って甲西は月火が休館日だから長くなると説明を聞いて分かりましたし、今年はまだカレンダーめぐりでこうなると私は理解をしていますが、不満を言われている人もいますので、休みを振り替えるなど対応は可能なのでしょうか。</p>
事務局	<p>年末年始を開けて、振替で他を閉めることや、休日出勤し振替を交替で休むなどですか。</p>
委員	<p>年末年始で会社が休みの人が全然利用できないという現実があるので。</p>
事務局	<p>今回、石部はそんなに休みは長くはないですし、振替については、甲西図書館の職員の休みは市役所職員と比べてハッピーマンデー分が少ないので、調整休暇を年間3日設けて交替で休んでいる状況で、祝日も何日かは開館に必要な最低限の職員を出勤させて交替で振替休暇を取っています。年末年始も休日出勤にすると年間10日以上交替で振替休暇の職員が出てくることとなります。そうなってくると現状の職員体制では、業務を回すのが困難になってきます。私たちが勿論開きたい気持ちはありますが、立場として振替休暇を取りたい日があっても取るなどとは言えないので、振替休暇を取らせれば業務が難しく、人数に余裕がないということです。ただ、年末年始を開けて、他を休館にすることはできますが、休館日の基本日以外になぜその日が休みなのかの説明も必要ですし、年間の休館日数は変わらないこととなります。ですので、開きたいのですが、後の振替休暇を交替で常時誰かが欠けている状態で開館しなければなりま</p>

	せん。祝日を開けてほしいという要望はありますが、開ければ開けるほど振替休暇が増えてくることになります。
委員	一般の市民はそこまで分かりませんので。毎年ではないと思いますが。
事務局	今年はずっと月曜火曜が続いて長い休みになってしまいました。私どもとしては分かりやすいカレンダーとしていますが、年末年始に開けて、それ以外の時と比べて多くの人に来てくれるのかどうかというのがあります。
委員	勿論、三が日は来ないと思いますが、もう少しと思ひまして。
事務局	開館して交替で休む余裕がもう少しあれば、私どもも開館したいところではあります。
会長	人数がぎりぎりです。
委員	私はよく分かりました。それから朗読ボランティア講座の後の市広報紙と議会だより等の朗読ボランティアへの参加についてですが、私も実は講座を受けましたが、せっかく多くの日数を割いて参加し、なにがしかのボランティアに参加しようと思っているのに、呼びかけが口頭で少し言われただけで、こちらから電話もしましたがこちらの都合が悪くつながらないままでした。講座終了後のボランティアに繋ぐ説明がかなり不足していて、希望者にだけでも書面などにより配ってくだされば良かったが不親切でしたが、結局皆さん参加されていますか。
事務局	見学には、何名かが来てくださっていましたが、なかなか日程調整が毎週や毎月となりますので難しいようです。
委員	書面で早いうちからわかっていたら都合も付けられるようにも思います。せっかく高い立派な講師に税金を使い無料で受けさせてもらい、有り難かったのに、もったいないといえますか生かされていないと思いました。来年はされるかわかりませんが、多くの者が受けたのに生かされていないのがどうかと思いました。
事務局	電話では案内をさせてもらっていたことかと思いますが。
委員	折角やろうしている気持ちが落ちていくので、今後のためにも明記する等の方法で案内してもらおうと自分で選んでいくこともできますので検討してください。
事務局	今後のことですがそのように検討させていただきます。
委員	今の件ですが、もしそのような方がおられるのであれば、是非学校にも紹介してください。学校はどしどし来ていただきたいです。
委員	小学校と中学校の絵本読み聞かせボランティアをしています。市で研修をしていただいていますね。私は二つの学校へ行っており、コーディネーターさんから研修の案内をいただいておりますが、研修案内をもらってない学校があると聞きました。教育委員会から学校へは届いているのですが、学校が発信をしていないのではないのでしょうか。
委員	私は、石部図書館で読み聞かせボランティアをしている団体ピッコロです。毎週第2日曜日11時からですが、ボランティアを募集していますので是非見学に来てください。
委員	受講者が直接学校といっても無理があるので、図書館が学校ともつながるようにうまく橋渡し役をしてください。
事務局	受講者にいろいろな活動をされていることを案内させていただきます。

会長	では、他に無ければ次回の日程を決めたいと思います。
事務局	1月中旬に各委員に連絡しますので、3月の何れかの土曜・日曜で調整をお願いします。
会長	では、これで図書館協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

【閉会】(15時45分)